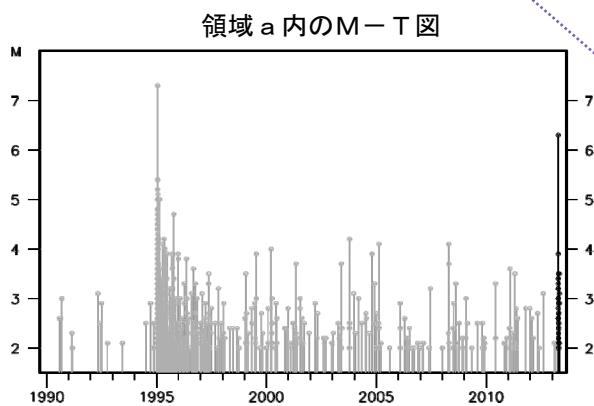
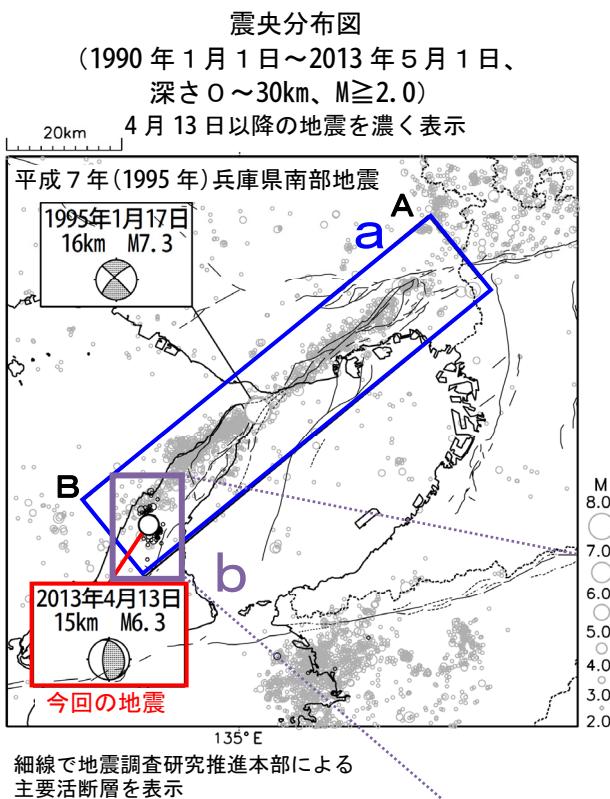


2013 年 4 月 13 日 淡路島付近の地震の評価

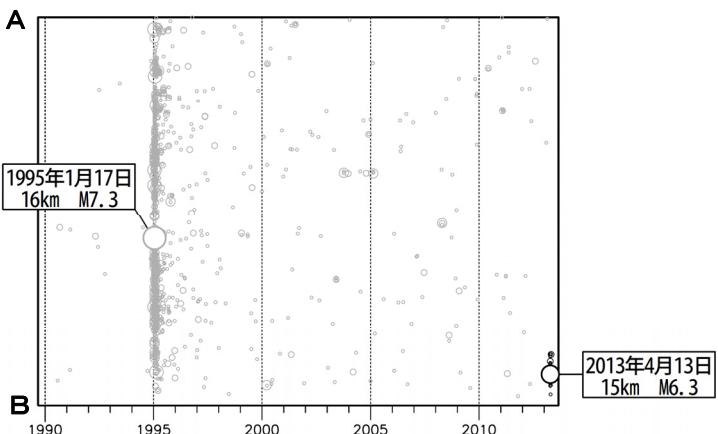
- 4 月 13 日 05 時 33 分に淡路島付近の深さ約 15km でマグニチュード (M) 6.3 の地震が発生した。この地震により兵庫県で最大震度 6 弱を観測し、被害を伴った。その後、地震活動は本震－余震型で推移し、余震活動は減衰してきている。これまでの最大の余震は 13 日 05 時 41 分に発生した M3.9 の地震で、最大震度 3 を観測した。
- この地震の発震機構は東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、地殻内の地震である。今回の地震の余震分布と本震の発震機構から推定される震源断層は南北方向に延びる西傾斜の逆断層であった。この地震は、「平成 7 年（1995 年）兵庫県南部地震」の余震域の南西端に近接する領域で発生した。
- GNSS 観測の結果によると、本震の発生に伴って、洲本観測点（兵庫県）でわずかな地殻変動が観測された。
- この震源域南部に近接して六甲・淡路島断層帶の一部である先山（せんざん）断層帶が存在している。地震調査委員会は、この先山断層帶について、全体が活動すると M6.6 程度の地震が発生する可能性があると評価していたが、今回の地震とこの断層帶との関係については不明である。

（下線部は第 250 回地震調査委員会評価文から追加・修正された部分）

4月13日 淡路島付近の地震

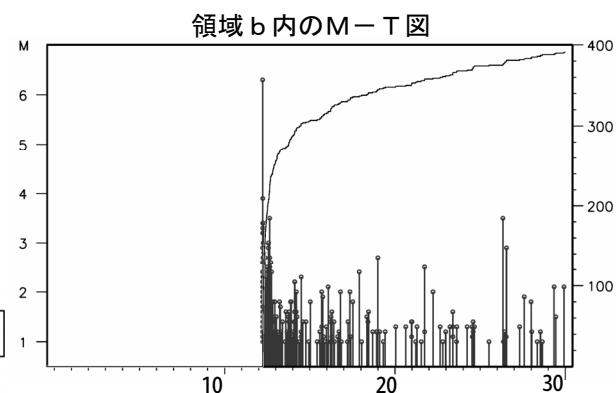
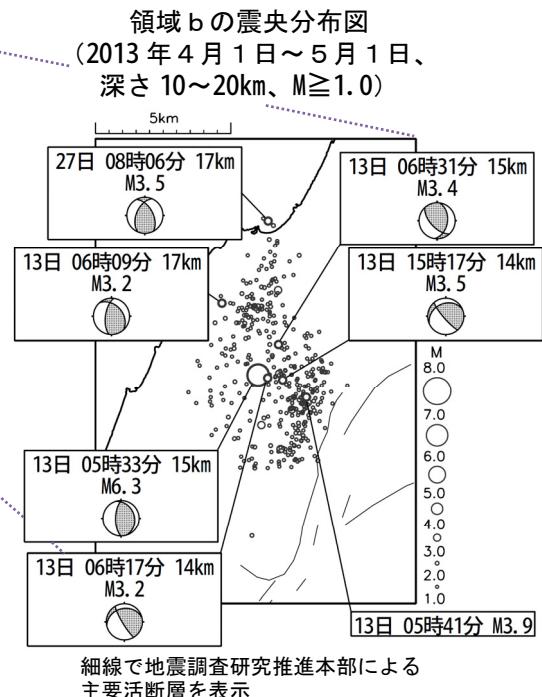


領域a内の時空間分布図 (A-B投影)



2013年4月13日05時33分に淡路島の深さ15kmでM6.3の地震（最大震度6弱）が発生した。この地震は、「平成7年（1995年）兵庫県南部地震」の余震域の南西端に近接する領域で発生した。この地震の発震機構は東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、地殻内で発生した地震である。

地震活動は本震－余震型で推移し、余震活動は減衰してきている。これまでの最大余震は、この地震の約8分後に発生したM3.9の地震（最大震度3）である。



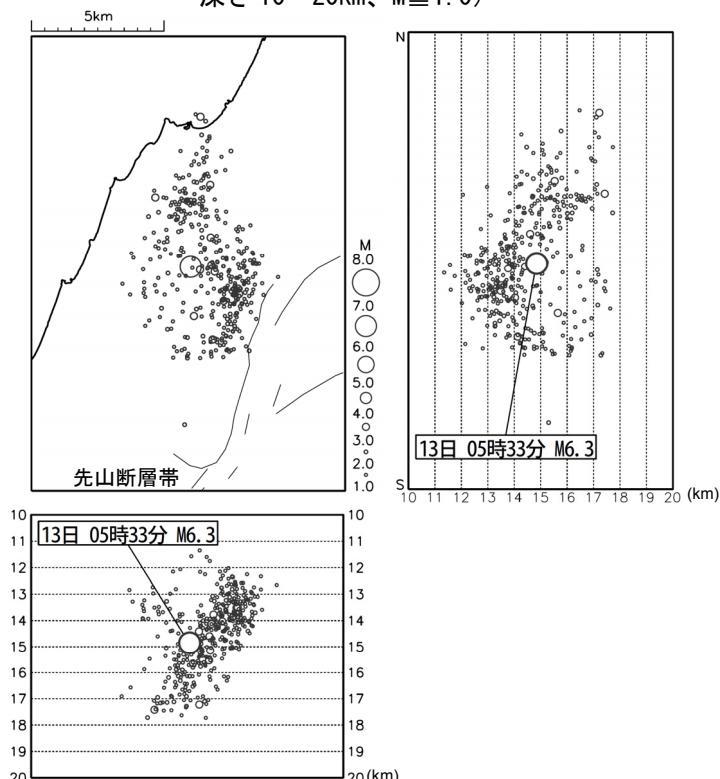
今回の地震の余震分布と本震の発震機構から推定される震源断層は、南北方向に延びる西傾斜の逆断層と考えられる。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域c）でM6.0以上の地震は、今回の地震のほか、「平成7年（1995年）兵庫県南部地震」、および1936年の河内大和地震がある。

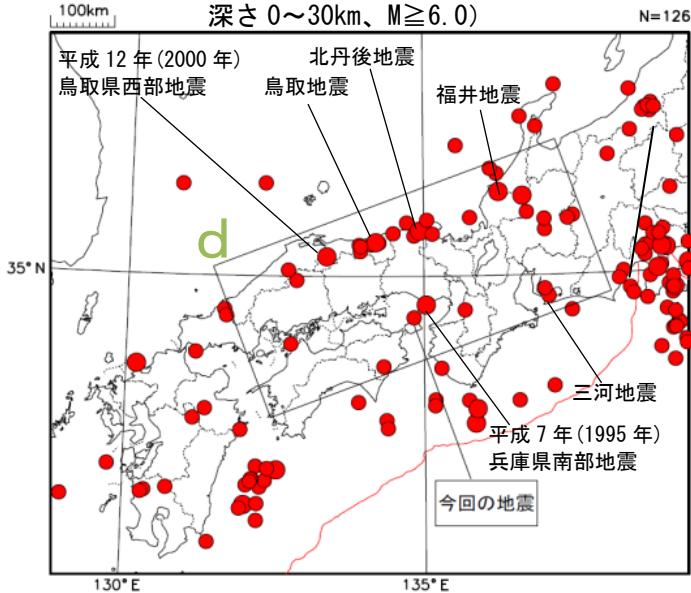
さらに広域でM7.0以上の地震としては、1927年に北丹後地震、1943年に鳥取地震、1945年に三河地震、1948年に福井地震、平成12年（2000年）鳥取県西部地震などが発生している。

領域bの震央分布図と断面図

（2013年4月1日～5月1日、
深さ10～20km、M≥1.0）

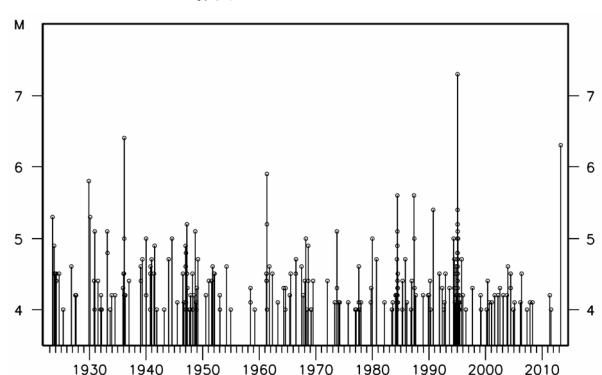
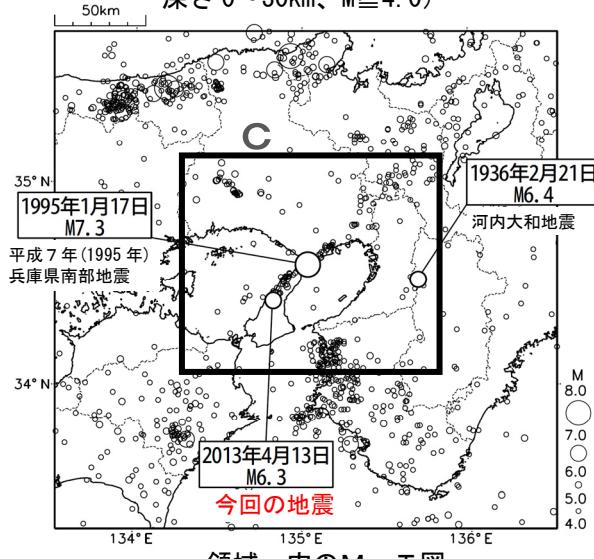


広域の震央分布図
(1923年1月1日～2013年5月1日、
深さ0～30km、M≥6.0)

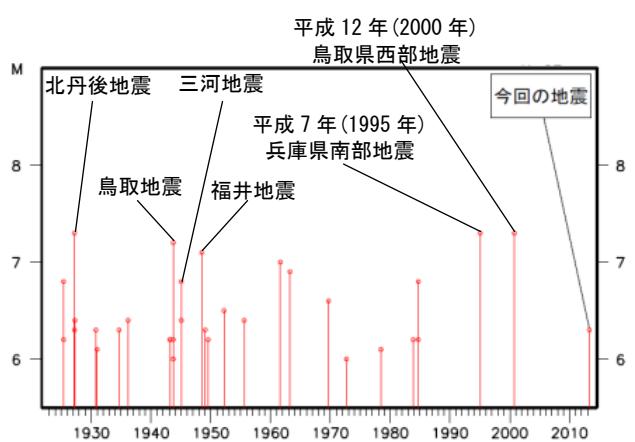


周辺の震央分布図

（1923年1月1日～2013年5月1日、
深さ0～30km、M≥4.0）



領域d内のM-T図

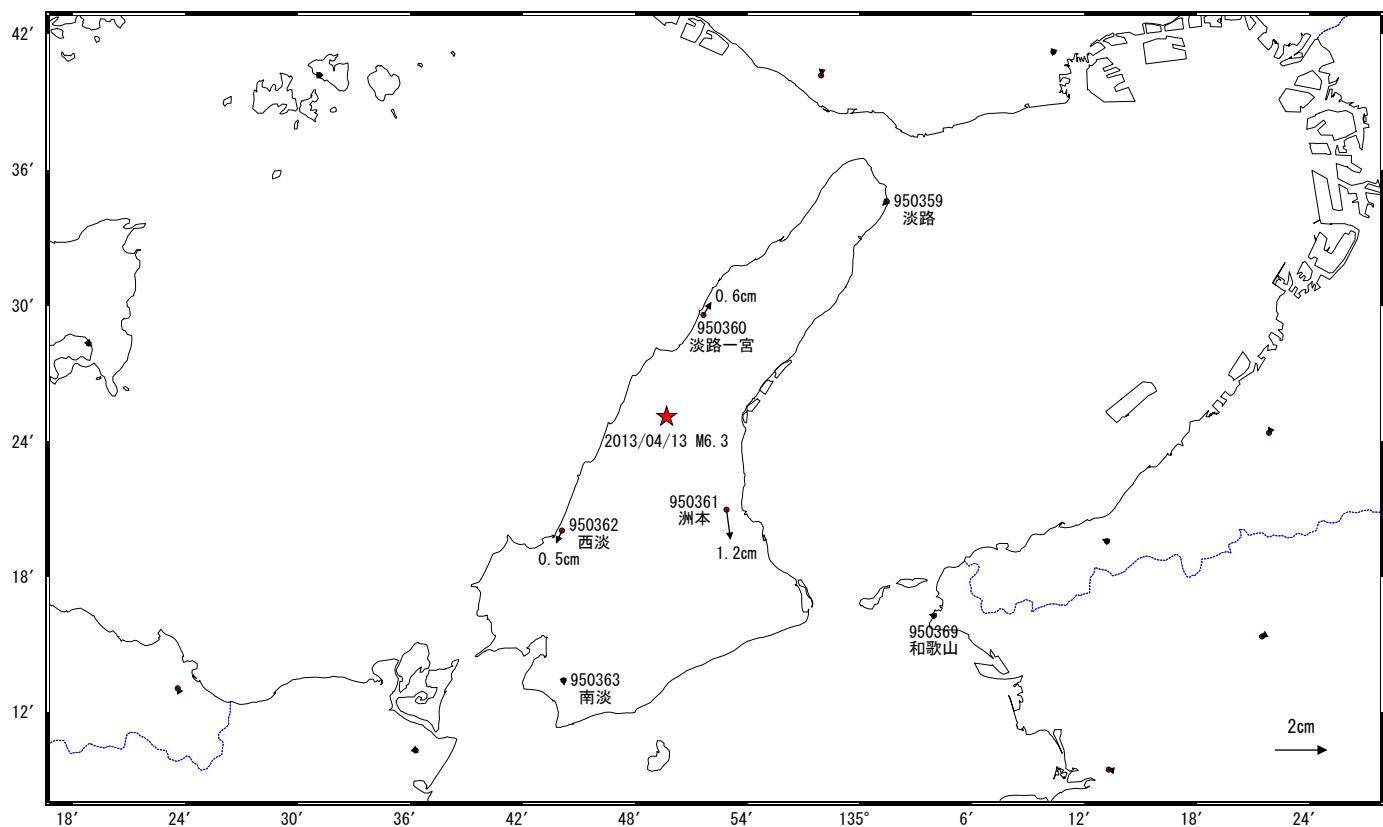


淡路島付近の地震(4月13日 M6.3)前後の観測データ (1)

この地震に伴うわずかな地殻変動が観測された。

基準期間: 2013/04/05~2013/04/11 [F3: 最終解]
比較期間: 2013/04/13~2013/04/19 [F3: 最終解]

地殻変動 (水平)

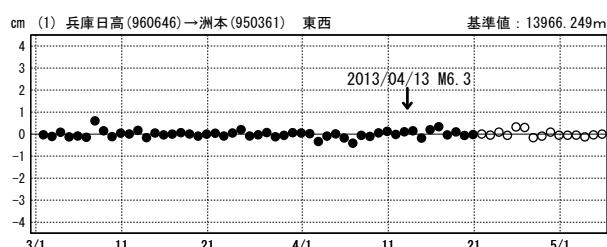


★ 固定局: 兵庫日高(960646)

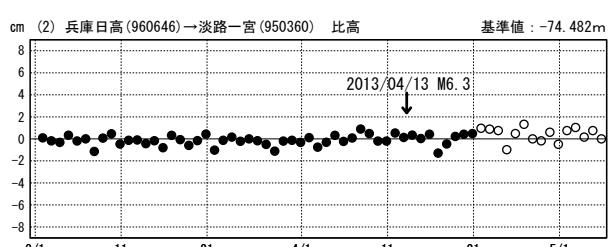
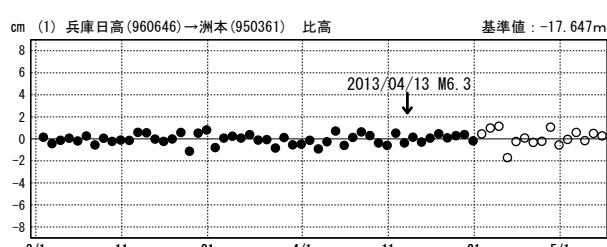
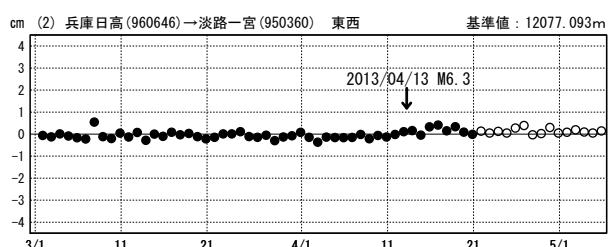
※ 洲本の地殻変動量には、電子基準点の傾斜に伴う5mm程度の変動が含まれる可能性がある。

成分変化グラフ

期間: 2013/03/01~2013/05/05 JST



期間: 2013/03/01~2013/05/05 JST



●---[F3:最終解] ○---[R3:速報解]

淡路島付近の地震と活断層

